

2026年度 第4回（9月）北辰テスト対策 予想問題 解答・解説

社会

1 問1（4点）

大西洋

解説: 地図中Xは、南北アメリカ大陸とヨーロッパ・アフリカ大陸にはさまれた海洋。三大洋（太平洋・大西洋・インド洋）のうち2番目に大きい。

採点ポイント: 漢字指定。「大西洋」の「西」を「正」等と誤らないこと。「太西洋」（太平洋との混同）は不可。

1 問2（3点）

ウ

解説: 時差計算の手順:

1. 東京は東経135度、サンフランシスコは西経120度。本初子午線をはさんで反対側にあるため、経度差は $135 + 120 = 255$ 度。
2. 経度15度で1時間の時差 $\rightarrow 255 \div 15 = 17$ 時間。
3. 日付変更線の西側にある東京の方が時刻が進んでいるため、サンフランシスコは東京より17時間遅れ。
4. 8月31日午前9時 - 17時間 = 8月30日午後4時。

ア（8月31日午後4時） $\rightarrow$ 7時間しか引いていない誤り

イ・エ $\rightarrow$ 時刻を「進めて」計算した誤り

採点ポイント: 東経と西経にまたがる場合は経度を「足す」こと、西へ行くほど時刻が遅れることの2点。

1 問3（3点）

イ

解説: ケープタウンは南緯34度の地中海性気候。南半球のため季節が北半球と逆になり、6～8月が冬（気温12～13℃・降水多）、12～2月が夏（気温20～21℃・乾燥）。資料1の「気温の谷が6～8月」「降水の山も6～8月」という2つの特徴から、南半球+冬に雨の降る地中海性気候と判定できる。

ア $\rightarrow$ 熱帯雨林気候（シンガポール等）。ケープタウンの冬は12℃前後で「一年を通して気温が高い」は誤り

ウ $\rightarrow$ 砂漠気候（カイロ・リヤド等）。年降水量約530mmは「極めて少ない」とはいえない

エ $\rightarrow$ 冷帯（イルクーツク等）。最寒月でも12℃前後あり誤り

採点ポイント: 雨温図から「南半球」を読み取る定番スキル。気温グラフが谷型（夏冬逆転）＝南半球。

1 問4（3点）

アボリジニ

解説: オーストラリア大陸に4万年以上前から住む先住民。ブーメランを使った狩猟採集の文化を持つ。20世紀後半まで白豪主義のもとで差別されたが、現在は先住民の文化を尊重する多文化社会への取り組みが進む。ニュージーランドの先住民マオリとの混同に注意。

採点ポイント: カタカナ指定。「アボリジニー」も許容されうるが、教科書表記は「アボリジニ」。

1 問5 (5点)

1961年はイギリスへの輸出の割合が最も高かったが、2020年には中国や日本など、距離の近いアジアの国々への輸出が中心となっている。

短縮版：「イギリス中心の輸出から、中国・日本などアジアの国々中心の輸出へと変化した。」

解説:

グラフ2の要点：1961年はイギリスがおおよそ24%で最大（オーストラリアはイギリス連邦の一員で、歴史的な結びつきが強かった）。2020年は中国がおおよそ40%で最大、日本も12%で上位。

背景：1973年のイギリスのEC加盟でイギリスとの貿易が縮小し、距離の近いアジアの経済成長（日本の高度経済成長→中国の工業化）とともに、鉄鉱石・石炭などの資源輸出先がアジアへ移った。

語句指定「アジア」を必ず含める。

採点ポイント（5点満点）：

2点：1961年はイギリス（ヨーロッパ）中心だったことに言及

2点：2020年は中国・日本などへの輸出が中心であることに言及

1点：語句「アジア」を含む

1 問6 (3点)

イ

解説: 表1の4か国は以下の通り：

I（人口14400万・面積17098千km²・原油/天然ガス）＝ロシア（面積世界最大）

II（人口2600万・GNI60400ドル・鉄鉱石/石炭）＝オーストラリア

III（人口21500万・大豆/鉄鉱石）＝ブラジル

IV（面積1221千km²・白金/自動車）＝南アフリカ共和国

各選択肢の正誤：

ア → 誤（Iロシアは面積最大だが、人口最多はIIIブラジルの21500万）

イ → 正（IIオーストラリアのGNI60400ドルは4か国で最高。人口2600万は4か国で最少）

ウ → 誤（IIIブラジルは人口最多だが、GNI最低はIV南アフリカの6800ドル）

エ → 誤（IVは面積最小は正しいが、主要輸出品目「白金・自動車・鉄鉱石」に農産物は含まれない）

採点ポイント: 各主張の前半・後半を両方検証する。半分だけ正しい選択肢（ア・ウ・エ）を消去できるか。

2 問1 (3点)

ウ

解説: 兵庫県は近畿地方の西部に位置し、県庁所在地の神戸市を中心に阪神工業地帯（大阪府・兵庫県）が広がる。1998年開通の明石海峡大橋（世界最大級のつり橋）で淡路島と結ばれ、さらに大鳴門橋で四国（徳島県）とつながる。

ア → 滋賀県（琵琶湖）

イ → 島根県（石見銀山）

エ → 岐阜県・愛知県・三重県（木曾三川下流の輪中）

採点ポイント: 近畿地方の県別特徴の判別。

2 問2 (3点)

エ

解説:

さくらんぼ（おうとう）の生産は山形県が全国のおよそ7割を占め、その中心は**山形盆地**（山形市・天童市・東根市など）。米沢盆地は県南部で、稲作・米沢牛が中心。

最上川は山形県内をほぼ縦断して日本海に注ぐ川で、富士川・球磨川とともに日本三大急流の一つ。下流には庄内平野が広がる。信濃川は新潟県・長野県を流れる日本最長の川。

採点ポイント: 「山形盆地」と「米沢盆地」、「最上川」と「信濃川」の区別。

2 問3 (3点)

ア・ウ・エ

解説: 北海道の特色として正しいのは:

ア 正: 北海道は冷帯（亜寒帯）に属し、梅雨前線の影響をほとんど受けない（「梅雨がない」とされる）

イ 誤: ピーマンなどの促成栽培は**宮崎平野・高知平野**（温暖な気候＋ビニールハウス）

ウ 正: 十勝平野は日本を代表する畑作地帯。じゃがいも・小麦・てんさい・豆類の輪作が行われる

エ 正: アイヌの人々は北海道の先住民族。2019年にアイヌ施策推進法が成立し、文化の継承・振興が進められている

オ 誤: みかん栽培は和歌山・愛媛・静岡など温暖な地域。北海道は寒冷でかんきつ類は育たない

採点ポイント (3点満点): 3つすべて塗って初めて3点。1つでも誤選択・不足があれば0点。

2 問4 (3点)

ウ

解説: 表2の3県を実データと照合:

I (面積13562km²・畜産275億円) → **長野県** (面積は全国4位で3県中最大。農業産出額は果実・野菜中心で畜産の割合が小さい)

II (人口539万人) → **兵庫県** (人口は全国7位で3県中最多。都市化が進み農業産出額は3県中最小)

III (農業産出額4997億円・うち畜産3329億円) → **鹿児島県** (シラス台地での豚・肉牛・ブロイラー飼育により、畜産が産出額の6割以上を占める)

判別の決め手は「面積最大＝長野」「人口最多＝兵庫」「畜産突出＝鹿児島」の3点。

採点ポイント: 統計表の複数指標から県を同定する。畜産の割合という「構成比」に注目できるか。

2 問5 (4点)

抑制栽培

解説: 長野県の野辺山原（八ヶ岳山ろく、標高約1300m）や群馬県嬬恋村などの高冷地では、夏でも涼しい気候を利用して、レタス・はくさい・キャベツなどの高原野菜の生育・出荷時期を**遅らせる**栽培（抑制栽培）を行う。他の産地の出荷が少ない夏に出荷することで高い価格で売ることができる。反対に、宮崎平野・高知平野などで出荷時期を**早める**のが**促成栽培**。

採点ポイント: 漢字4字指定。「促成栽培」との混同が最大の誤答パターン。「生育を遅らせる」「夏に出荷」というキーワードから抑制栽培を選ぶ。

2 問6 (4点)

ア・イ・ウ

解説: 地形図4の読み取り:

ア 正: 市役所 (◎記号) はS駅の真西にある

イ 正: 寺院 (卍記号) はS駅から見て右上、すなわち北東の方向にある

ウ 正: 地形図の北西部に果樹園 (○記号) が広がっている (松本盆地の扇状地では実際にりんご・ぶどう栽培がさかん)

エ 誤: 小学校 (文記号) はS駅の真南にある。「南東」ではない

オ 誤: 2万5千分の1地形図で3cmの実際の距離は $3\text{cm} \times 25000 = 75000\text{cm} = 750\text{m}$ 。「約1500m」は誤り (1500mになるのは5万分の1の場合)

採点ポイント: 縮尺計算 ($3\text{cm} \times 25000 = 750\text{m}$) と8方位の判定を両立させる。3つすべて塗って初めて4点。

3 問1 (4点)

中大兄皇子

解説: 中大兄皇子 (626～671) は645年、中臣鎌足らとともに蘇我蝦夷・入鹿の親子を倒し (乙巳の変)、大化の改新とよばれる政治改革を始めた。公地・公民の方針を打ち出し、唐・新羅の連合軍と戦った白村江の戦い (663年) の敗北後は、都を近江大津宮に移して即位し、天智天皇となった。670年には初めての全国的な戸籍 (庚午年籍) をつくった。

採点ポイント: 漢字指定。「中大兄皇子」の「兄」を「見」等と誤らないこと。「天智天皇」と書いた場合は、まとめ文中に「のちに即位して天智天皇となり」とあるため即位前の名を求めていることから、原則「中大兄皇子」で採点 (実試験でも「中大兄皇子」が模範解答)。

3 問2 (3点)

ウ

解説: 大宝律令 (701年) にもとづく律令制下の農民の負担:

租: 収穫した稲のおよそ3%を地方の役所 (国府) に納める

調: 地方の特産物 (絹・糸・海産物など) を都に納める

庸: 都での労役の代わりに布を納める

雑徭: 国司のもとで年間60日以内の労役につく

このほか兵役 (防人・衛士) もあった。「稲」「約3%」「地方」の3つのキーワードから租を選ぶ。

採点ポイント: 租・調・庸・雑徭の内容の区別。「都に納める」のは調・庸、「地方に納める」のは租。

3 問3 (3点)

ウ

解説: 摂関政治は、藤原氏が娘を天皇のきさきにし、生まれた子(孫)を幼くして天皇に立て、天皇が幼いときは摂政、成人後は関白として政治の実権を握るしくみ。藤原道長(「この世をばわが世とぞ思ふ 望月の…」の歌で知られる)と子の頼通(平等院鳳凰堂を建立)の時代(11世紀前半)が全盛期。

ア → 院政(白河上皇、1086年～)

イ → 執権政治(鎌倉時代の北条氏)

エ → 聖徳太子(飛鳥時代)

採点ポイント: 摂政・関白・院政・執権の「権力のにぎり方」の違いを区別する。

3 問4 (3点)

イ

解説: 平安時代は794年(平安京遷都)～1185年。

X 十字軍の遠征開始(1096年、ローマ教皇ウルバヌス2世のよびかけ) → 平安時代に含まれる(正)

Y 宋の建国(960年)と中国統一(979年) → 平安時代に含まれる(正)。日宋貿易は平清盛が推進

Z ルネサンス → 14～16世紀にイタリアで開花。日本では室町～戦国時代にあたり、平安時代ではない(誤)

採点ポイント: 世界史の主要事象の世紀を日本の時代区分と重ねる。十字軍=11世紀末、宋=10世紀、ルネサンス=14世紀～の3点。

3 問5 (3点)

エ

解説: 元寇は文永の役(1274年)と弘安の役(1281年)の二度にわたる元軍の襲来。日本の武士の一騎打ち戦法に対し、元軍は集団戦法と火薬兵器「てつほう」を用いた。文永の役の後、幕府は博多湾沿いに石垣(防塁・石塁)を築き、弘安の役では元軍の上陸を阻んだ。暴風雨もあって元軍は撤退した。

ア → 誤。元寇は防衛戦争で新しい領地を得られず、幕府は御家人に十分な恩賞を与えられなかった。生活が苦しくなった御家人の不満が高まり、幕府は徳政令(1297年・永仁の徳政令)を出したが効果は薄く、幕府衰退の一因となった

イ → 室町時代の勘合貿易(足利義満、1404年～)

ウ → 飛鳥時代の白村江の戦い(663年)後の防備

採点ポイント: 元寇の経過と結果(恩賞不足→御家人の窮乏→幕府衰退)の因果を理解しているか。

3 問6 (3点)

ア

解説:

X=応仁の乱 (1467～1477年): 8代将軍足利義政のあとつぎ問題に、守護大名の細川氏と山名氏の対立などがからんで京都で始まった戦乱。主戦場となった京都は荒廃し、幕府の権威は失われた。

Y=下剋上: 下位の者が実力で上位の者に打ち勝つ風潮。応仁の乱後に広がり、戦国大名が各地に登場する戦国時代となった。

壬申の乱 → 672年、天智天皇の死後のあとつぎ争い (大海人皇子vs大友皇子)。飛鳥時代

打ちこわし → 江戸時代、都市の民衆が米屋などをおそった行動

採点ポイント: 「1467年」「あとつぎ問題」から応仁の乱を、「実力で上位に打ち勝つ」から下剋上を確定する。

3 問7 (4点)

株仲間

解説: 株仲間は、商工業者が同業者ごとにつくった組合。江戸幕府の老中田沼意次 (在職1772～1786年) は、株仲間の結成を奨励し、営業の独占権を認めるかわりに営業税 (運上・冥加) を納めさせ、商人の経済力を利用して幕府の財政再建をはかった。のちに天保の改革 (1841年～) で水野忠邦は、物価上昇の原因とみなして株仲間を解散させた。

採点ポイント: 漢字3字指定。「株仲間」の「株」(木へん+朱)を正確に。中世の「座」(公家や寺社に保護された同業者組合)との混同に注意。

4 問1 (3点)

イ

解説: 日米修好通商条約 (1858年、大老井伊直弼がハリスとの間で朝廷の許可を得ずに調印) は、函館・神奈川 (横浜)・長崎・新潟・兵庫 (神戸) の5港を開いて自由貿易を認めた。日本に関税自主権がない (輸入品の関税率を自主的に決められない)、アメリカに領事裁判権 (治外法権) を認める (アメリカ人の犯罪をアメリカの領事が裁く) という2つの不平等条項を含み、条約改正は明治政府の最大の外交課題となった (1894年陸奥宗光が領事裁判権撤廃、1911年小村寿太郎が関税自主権回復)。

ア → 日米和親条約 (1854年)

ウ → 下関条約 (1895年、日清戦争の講和)

エ → ポーツマス条約 (1905年、日露戦争の講和)

採点ポイント: 和親条約 (開国のみ) と修好通商条約 (貿易開始・不平等) の区別。

4 問2 (3点)

ア

解説:

X=板垣退助：征韓論争に敗れて政府を去ったのち、1874年に民撰議院設立の建白書を提出して自由民権運動の口火を切った。

Y=自由党：1881年、国会開設の勅諭（10年後の国会開設の約束）が出されると、板垣退助はフランス流の人権思想にもとづく自由党を結成した。

大隈重信は翌1882年、イギリス流の議会政治を主張する立憲改進黨を結成。「板垣—自由党」「大隈—立憲改進黨」の対応を固定して覚える。

採点ポイント：人物と政党の組み合わせ。板垣=自由党、大隈=立憲改進黨。

4 問3 (3点)

イ

解説：1925年、加藤高明内閣のもとで普通選挙法が成立し、納税額による制限が廃止されて満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられた。有権者はそれまでの約4倍に増えたが、女性の選挙権は認められなかった。同年、共産主義などを取りしめる治安維持法も制定された（アメとムチの関係で頻出）。

ア → 1889年の衆議院議員選挙法（直接国税15円以上・満25歳以上の男子=人口の約1.1%）

ウ → 1945年の選挙法改正（満20歳以上の男女。翌1946年の総選挙で初の女性参政権行使）

エ → 2015年改正・2016年施行（満18歳以上）

採点ポイント：選挙権拡大の4段階（1889→1925→1945→2015）の年代と資格の対応。大問4全体で「1925年男子普選→1945年男女普選」の対比が伏線になっている。

4 問4 (3点)

イ・ウ・オ

解説：期間B（1929年世界恐慌～1945年ポツダム宣言受諾）に該当するか、1つずつ年代照合：

ア 誤：米騒動は1918年（シベリア出兵を見こした買い占めが原因。寺内内閣退陣→原敬の政党内閣成立）→ 期間Bより前

イ 正：五・一五事件は1932年。海軍青年将校らが犬養毅首相を暗殺し、政党内閣の時代が終わった

ウ 正：国家総動員法は1938年。日中戦争の長期化を受け、議会の承認なしに労働力・物資を動員可能にした

エ 誤：韓国併合は1910年（朝鮮総督府設置）→ 期間Bより前

オ 正：日独伊三国同盟は1940年

採点ポイント（3点満点）：3つすべて塗って初めて3点。米騒動（1918）と韓国併合（1910）を昭和戦前と混同しないこと。

4 問5 (5点)

政府が地主のもつ小作地を強制的に買い上げて、小作人に安く売りわたした改革。これにより小作地が大幅に減り、自分の土地をもつ自作農が大きく増えた。

短縮版：「地主の土地を政府が買い上げて小作人に安く売りわたし、自作農を増やした改革。」

解説:

農地改革はGHQの指令にもとづく戦後民主化政策の一つ（1946年から本格化）。地主と小作人の封建的な関係を解体するため、政府が地主の小作地を強制的に買い上げ、小作人に安く売りわたした。

グラフ6の変化：小作地はおよそ46%（1941年）→およそ10%（1950年）に激減し、自作地がおよそ54%→90%に増えた。自作農が大幅に増えたことが改革の結果。

戦後民主化の3点セット「農地改革・財閥解体・選挙法改正（労働組合法も）」のうち、農地改革が記述問題の最頻出。

採点ポイント（5点満点）：

2点：政府（国）が地主の土地（小作地）を買い上げたことに言及

2点：小作人に安く売りわたした／自作農が増えたことに言及

1点：語句「地主」を含む

4 問6 (3点)

ウ

解説: 冷戦期のできごとを年代順に：

1. a NATO（北大西洋条約機構）結成：1949年 アメリカ中心の西側の集団防衛機構
2. c 朝鮮戦争開始：1950年 北朝鮮が韓国に侵攻。日本では特需景気が起こり、警察予備隊（自衛隊の前身）が発足
3. d ワルシャワ条約機構結成：1955年 ソ連中心の東側の対抗機構
4. b キューバ危機：1962年 ソ連のキューバへのミサイル基地建設をめぐり核戦争の危機

「NATO（1949）→朝鮮戦争（1950）→ワルシャワ（1955）→キューバ危機（1962）」の冷戦進行の流れは、西側結成→熱戦→東側結成→危機の順で覚える。

NATOと朝鮮戦争は1年差だが、「冷戦の対立構造がまずヨーロッパで固まり（NATO結成）、その翌年にアジアで実際の戦争（朝鮮戦争）が起きた」という因果の流れで覚えると順序を取り違えない。

採点ポイント: 冷戦の主要事件4つの年代順。NATOとワルシャワ条約機構の結成順（西が先・東が後）を逆にしないこと。

4 問7 (4点)

石油危機

解説: 1973年、第四次中東戦争をきっかけに、アラブの産油国（OAPEC・OPEC）が原油の生産制限と価格の大幅な引き上げを行い、原油価格が約4倍に高騰した。先進国の経済は大きく混乱し（日本ではトイレトペーパー買いだめ騒動など）、1974年に日本は戦後初のマイナス成長を記録して、1955年ごろから続いた高度経済成長が終わった。「オイル・ショック」ともいう（本問は漢字4字指定のため「石油危機」のみ正答）。

採点ポイント: 漢字4字指定。「石油危機」を正確に。「オイルショック」はカタカナのため不可。世界恐慌（1929年）との混同に注意。

5 問1 (3点)

エ

解説: 青森県は岩木川下流の**津軽平野**を中心にりんご栽培がさかんで、生産量は全国のおよそ6割を占める。

(補足: 夏の冷たく湿った北東風や**ませ**による冷害は、奥羽山脈を挟んだ**東北地方の太平洋側**で顕著な現象。津軽平野は日本海側に位置し影響を受けにくいいため、設問の選択肢ではりんご栽培のみを記述している。)

ア → 鹿児島県・宮崎県 (シラス台地の畜産)

イ → 高知県 (高知平野の促成栽培)

ウ → 北海道 (開拓使・屯田兵)

採点ポイント: 津軽平野＝りんご (青森) の対応。ア＝鹿児島、イ＝高知・宮崎、ウ＝北海道と、他の選択肢は青森と明確に無関係。

5 問2 (3点)

扇状地

解説: **扇状地**は、川が山地から平地に流れ出るところに、土砂が扇形に積もってできた地形。粒の大きい砂や石でできているため水はけがよく、水田には向かず、**果樹園**などに利用される。山梨県の**甲府盆地**の扇状地はぶどう・ももの栽培で有名 (山梨県はぶどう・もも生産量全国1位)。河口付近に細かい土砂が積もってできる**三角州** (水もちがよく水田に利用) との対比で覚える。

採点ポイント: 漢字3字指定。扇状地と三角州の混同が最大の誤答パターン。「山地から平地に出るところ」＝扇状地、「河口」＝三角州。

5 問3 (3点)

イ

解説: 三内丸山遺跡 (青森市) は**縄文時代前期～中期** (約5900～4200年前) の大規模集落跡。大型掘立柱建物の跡や多数のたて穴住居跡、クリの栽培の跡などが見つかっており、2021年に「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界文化遺産に登録された。縄文時代の人々は、縄目の文様のついた**縄文土器**を使い、**たて穴住居**に住み、狩り・漁・採集の生活を送り、**土偶**をつくった。

ア → 弥生時代 (稲作・高床倉庫)

ウ → 古墳時代 (前方後円墳・はにわ)

エ → 古墳時代 (渡来人・漢字・儒教の伝来)

採点ポイント: 縄文・弥生・古墳の3時代の生活・道具の区別。

5 問4 (3点)

イ

解説: 江戸時代の17世紀後半、河村瑞賢によって整備された**西廻り航路**は、東北地方の日本海側（酒田など）から日本海沿岸を南下し、下関（関門海峡）を回って瀬戸内海を通り、「天下の台所」大阪に至る航路。出羽の米や紅花（染料の原料。山形の特産）などが運ばれた。

ア 東廻り航路 → 酒田から津軽海峡を回って太平洋沿岸を南下し、江戸に至る航路

ウ 南海路 → 大阪と江戸を結ぶ航路。菱垣廻船・樽廻船が定期的に往来した

エ 五街道 → 江戸を起点とする陸上の主要街道（東海道・中山道など）

採点ポイント: 「酒田→日本海→下関→大阪」という経路の記述から西廻り航路を選ぶ。終点が大阪＝西廻り、江戸＝東廻り。